



最優秀賞に清水奨伍氏
建コン協九州、若手
技術者交流会開く

建設コンサルタント協会
（建コン協）九州支部（田
中清支部長）は9月30日、
2021年度の若手技術者

交流会を福岡市博多区の八重洲博多ビルで開いた。写真。オンラインを含め95人が参加。若手技術者が10件の技術発表を行い、日ごろの業務成果や仕事への思い、目指す技術者像などを披露し、最優秀賞に「都市高速道路における事故対策検討」を発表した清水奨伍氏（オリエンタルコンサルタンツ）が選ばれた。

開会あいさつで総務・企画部会の中島城二部会長は「悩み、考え、仕事に打ち込んで得たものがこれから先、技術者としての知識と経験、財産となる」と述べ、DX（デジタルトランスフォーメーション）など山積する課題に建設業界の転換

期と捉え取り組むよう呼び掛けた。

引き続き河川水辺の国勢調査成果の活用や離島の道路概略設計、跨道橋の地質調査、電線共同溝の予備設計、急傾斜地崩壊防止施設の補修設計、BIM/CIMの活用などをテーマとした発表が行われた。

優秀賞には「近年渇水を踏まえた濁水タイムラインの策定に向けて」の野村泰輔氏（東京建設コンサルタンツ）、「治水事業における環境配慮の取り組み」の小村隆文氏と古川海人氏（いずれも九州建設コンサルタンツ）が選ばれ、最優秀賞の清水氏とともに表彰された。